

オートローディングデュプリケーター

SRPRO-AUTOシリーズ

対応機種





SRPRO-AUTO25 / SRPRO-AUTO25BD
SRPRO-AUTO60-3 / SRPRO-AUTO60-3BD

目次

安全上のご注意	．．．	2
使用上のお願い	．．．	4
ご使用の前に	．．．	5
各部名称	．．．	6
ドライブコントロールパネル	．．．	7
メニュー一覧	．．．	8
準備する	．．．	10
コピー開始の前に	．．．	11
メニュー別操作説明	．．．	12
エラーコード表	．．．	22

安全上のご注意

ご使用いただく前に、以下の注意項目をご確認いただき、正しい使用を行ってくださいますようお願いいたします。誤った使用を行った場合には、お使いいただく方や周りの方、および環境へ損害を与える危険がございますので、くれぐれもご注意ください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定されることを示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険または物的損害の発生が想定されることを示しています。
	△ 記号は「気をつけるべきこと」を表しています。 (左の記号は「感電注意」を意味しています)
	○ の中に\の記号は「してはいけないこと」を表しています。 (左の記号は「分解禁止」を意味しています)

警告

水が掛かる恐れがある場所や、屋外には置かないこと 感電や火災の原因となります。	
電源には交流100ボルトを使用すること 交流100ボルト以外を使用した場合は、感電や火災を引き起こすおそれがあります。	
電源プラグの金属部分（コンセント挿入部分）にホコリや水が付着している場合には、良く拭き取ってから使用すること 電源プラグの絶縁不足により放電し、火災の原因となります。	
電源コードの付け根や本体が切断していないか確認すること 切断箇所が導体に触れることで感電や火災を引き起こすおそれがあります。	
煙が出ていたり、異音がしたり、変なにおいがしたりした場合には即座に使用を中断し、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから引き抜くこと 使用を続けると、火災や感電、破裂等を引き起こすおそれがあります。	
本製品に強い衝撃を与えたり、破損したりした場合には即座に使用を中断し、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから引き抜くこと 使用を続けると、火災や感電、破裂等を引き起こすおそれがあります。	
本製品の動作中に、搬送アームに触れないこと すき間に挟まれてけがをしたり、機械を破損したりするおそれがあります	
本製品のすき間や通風口などから物を差し込んだり中に入れたりしないこと 本製品が破損したり、感電したりするおそれがあります。 誤って物が入ってしまった場合には使用を中断し、コンセントを引き抜き、各販売店までご連絡ください。	
本製品の上に花びんやコップなどの液体が入った容器を置かないこと 本製品が破損したり、感電したりするおそれがあります。 誤って液体が掛かってしまった場合には使用を中断し、コンセントを引き抜き、各販売店までご連絡ください。	



警告

雷が鳴り始めたら本製品に触れないこと 感電するおそれがあります。	
不安定な場所や、弱い土台の上に載せて使用しないこと 本製品が落下してけがの原因となったり、破損したりするおそれがあります。	
お客様ご自身で当製品の修理、改造、分解を行わないこと 必要となった場合には各販売元へご連絡、ご相談ください。	



注意

通風口の前に物を置いたりしてふさがないこと 本製品が高温となり、やけどを負うおそれがあります。また、本製品を破損することがあります。	
本製品を移動する場合には、コンセントから電源プラグを引き抜いてから行うこと 電源プラグを引き抜かず移動させようとすると、電源コード、コンセント、本製品との接合部分を破損したり、引っ掛けて本製品を落下させてしまい、けがを負ったりするおそれがあります。	
電源プラグを引き抜く場合に、コード部分をつかんで引き抜かないこと ケーブルやコンセントが破損するおそれがあります。	
濡れた手で電源プラグを差し込んだり引き抜いたりしないこと 感電するおそれがあります。	
直射日光の当たる場所や、高温になる場所に設置しないこと 本製品が高温となり、火災や故障の原因となります。	
湿度が高くなる場所やホコリが多い場所に設置しないこと 火災を引き起こしたり、感電したりするおそれがあります。	
問題が発生していないか定期的にチェックを行うこと 以上の項目に該当しないか、定期的にチェックを行ってください。不明な点がある場合には、各販売店にご相談ください。	

使用上のお願い

取り扱いに関すること

- 引越しなどで遠くへ運ぶ場合は、傷が付かないように毛布等で包んで下さい。
- 殺虫剤や揮発性のものを掛けたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させると、変色したり塗装が傷む場合があります。
- 長時間ご使用になると、天板・側板・後部などが多少熱くなることがありますが、故障ではありません。
- 使用しない時は電源を切して下さい。
- 長時間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、時々電源を入れて下さい。
- 製品を梱包してある箱および付属品は、修理や点検の際に必要なことがありますので、保管することをお勧めします。

使用場所・ご使用時は

- 操作パネルやドライブなどの汚れは、柔らかい布で軽くふき取して下さい。
- 汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤を使い、よくふき取して下さい。
(ベンジンやシンナーは塗装を傷める原因となるため使用しないで下さい)

著作権について

BD/DVD/CDディスクには、著作権の付いた物が多く存在します。個人的に楽しむ目的以外の複製は、権利者の許可がある場合を除いて、法律で固く禁じられています。

当製品を使用し無断複製などの違法行為が行われた場合、当社は一切の責任を負いません。

一般に、レンタルや市販されているBD/DVD/CD作品にはコピーガードが付与されており、複製ができないようになっている場合があります。本製品にはそのようなコピーガードをはずす機能は付随しておりません。

CPRMディスク取扱いのご注意

※DVDディスクご利用の場合のみ

- CPRMガード処理済のマスターディスクについて
CPRMのコピープロテクトの掛かったディスクは完全にコピー出来ません。
CPRM対応メディアは通常のメディアにはない、暗号化領域を持っております。
デュプリケータでコピーが正常終了しても、再生できない仕組みとなっております。
- CPRM対応ブランクメディアについて
「地デジ対応」「デジタル放送対応」と表記のあるブランクメディアはCPRM対応です。
マスターディスクがCPRMコピーガードが掛かっている、いないに関わらず、CPRM対応メディアでコピーしたディスクを再生するには、ドライブ、ソフトウェアいずれの対応も必要となるため、再生互換性に問題が起こる可能性があります。

ご使用の前に

本製品をご使用になる前に、作業が効率よく進行するよう、下記の文章をお読み下さい。

1. ドライブについての注意

本製品はCD/DVD/BDのそれぞれのディスク規格に対応しております。ただし、接続するドライブによって対応する規格は制限されますのでご注意下さい。

DVD±Rドライブを装備したデュプリケータが対応可能となるのは、DVDとCDとなります。

BD-Rドライブを装備したデュプリケータは、DVD、CDと合わせてBDもコピーが可能です。

また、接続するドライブは全て同じメーカー、型番、ファームウェアのものにして下さい。違うドライブが混在した場合には正常に動作しない場合や、処理が失敗しやすくなったりする場合があります。

2. マスター（コピー元）ディスクについての注意

マスターディスクは、ファイナライズされた（クローズ状態）ものでなければ、正常にコピーが出来ない場合があります。ファイナライズされていない（オープン状態）のものは、ファイナライズを行ってからコピー作業を開始するようにして下さい。

なお、本製品にファイナライズ機能はございませんので、パソコンでマスターディスクを作成する際に、ファイナライズ処理まで済ませて下さい。

ファイナライズの有無を、本製品の「ユーティリティ」内「ディスクジョウハウ」にてチェックする事が可能です。不明な場合にはご活用下さい。

3. ディスクのコピー制限

一般的にレンタル用や市販されているDVDおよびBlu-ray作品には、コピーを防止する機能が付加されているため、複製することが出来ないようになっています。

なお、本製品にコピーガードをはずす機能は付随しておりません。

また、DVDのコピーは同一のディスク規格へしかコピーが出来ない制限もあります。

DVD±R (4.7GB) のディスクは、DVD±R (4.7GB) へのみコピーすることが可能です。

同じくDVD±R DL (8.5GB) についても、DVD±R DL (8.5GB) へのみコピーが可能です。

-Rと+R間も書込方式が異なりますので、同一容量であっても相互のコピーは出来ません。

4. 温度についての注意

室温が0℃以下の場所に24時間以上置いてしまうと動作しないことがあります。

その場合は、作業を開始する4時間前に19℃以上の部屋にて機械を温めて下さい。

それを行わずに動作を開始した場合には、修復不可能な損傷を引き起こす可能性がありますので、くれぐれもご注意下さい。

5. メンテナンスについて

本製品に搭載されている光学ドライブ部品は非常にホコリに弱く、一番の故障原因となっています。

使用する際には、なるべくホコリのない場所で使用し、機械の表面上に付着した汚れなども、こまめに掃除することをお勧めいたします。

※ ホコリの多い場所でドライブのトレイを開けると、ディスクを読み取るレンズや機械の内部にゴミを吸い込み、故障の原因となりますので注意して下さい。

内容物の確認（付属品一覧）



The Cube 本体

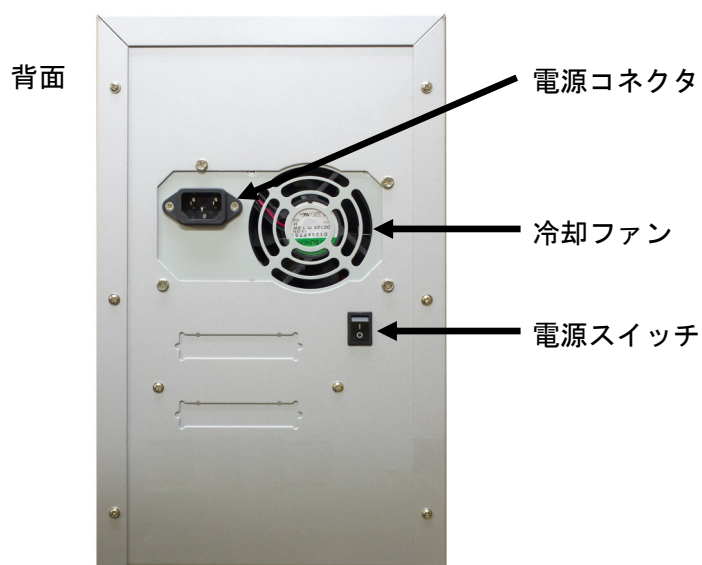
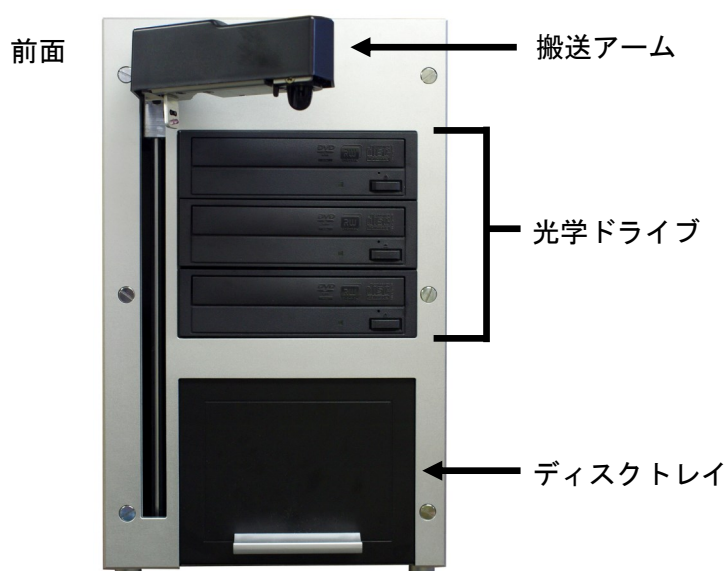


電源ケーブル



取扱説明書

各部名称



※写真はCUB60-S3Tを使用しています。
モデルによりドライブ数やデザインは
異なりますのでご了承下さい。

ドライブ・コントロールパネル

ドライブ



ドライブパネル

右のイジェクトボタンが押されるとトレイが排出されますのでそこへメディアをセットします

アクセスランプ

メディアへの読込・書込時に点灯・点滅します

イジェクトボタン

パネルを開いてドライブトレイを引き出します
閉じる際にも使います



上ボタン

メニューや設定画面で上にカーソルを移動します

下ボタン

メニューや設定画面で下にカーソルを移動します

決定 (ENT) ボタン

選択した内容を決定します / メニュー選択では次の画面に進みます

キャンセル (ESC) ボタン

選択した内容をキャンセルします / メニュー選択では前の画面に戻ります

メニュー一覧

メニュー表示		メニュー内容	参照
1. コピー		マスターディスクのデータあるいはHDDのイメージをブランクディスクに書き込む、デュプリケーターの基本機能です。	P12
2. テスト		コピーをシミュレートし、データ内容やディスクの状態をチェックする機能です。実際の書込は行ないません。	P12
3. コンペア		マスター（原本）のデータと、複製されたディスクのデータが一致するか確認する機能です。	P12
4. テスト+コピー		テストを行った後に引き続いて自動でコピーを行ないます。	P12
5. コピー+コンペア		コピーを行ったあとに引き続いて自動でコンペアを行ないます。	P12
6. コピーソクド センタク		書込の速度（倍速）を設定します。 【標準設定値】CD:32x, DVD:8x, DVD DL:2.4x, BD:4x	P13
7. マスターモード		シングルマスターモードかマルチマスターモードを選択できます。	P13
8. ショウキョ		RW（書換可能）ディスクのデータ消去を行ないます。	P14
9. HDDセットアップ		HDDの設定、および操作ができます。	P14
	1. パーティション センタク	コピー元のパーティションを選択できます。	P14
	2. パーティション ロード	イメージの作成。マスターディスクからHDDにイメージを読込みます。	P14
	3. パーティションメイヘンコウ	パーティション（イメージ）の名前を変更できます。	P14
	4. パーティション サクジョ	パーティション（イメージ）の削除ができます。	P15
	5. パーティション ジョウホウ	パーティション（イメージ）の情報を表示します。	P15
	6. ヨミコミ ドライブセンタク	パーティションをロードする際に使うドライブを選択します。	P15
	7. HDDフォーマット	HDDを初期化します。（全てのパーティションが削除されます）	P15
	8. ファイル ナラビジュン	HDD内のパーティション（イメージ）が表示される順番を設定します。	P15
10. セットアップ		各種設定を行ないます。	P16
	1. ゲンゴセンタク	使用言語を選択できます。（日本語以外をご利用の場合に使用）	P16
	2. リードエラー スキップ	読込エラーが発生した場合に無視するエラースキップ機能の有効・無効を設定できます。	P16
	3. CDコピーモード	ディスクアットワンス、トラックアットワンスが選択できます。	P16
	4. オーディオCD, VCD&CDGソクド	音楽CD&ビデオCDの最大書込速度を選択できます。 【標準設定値】16x	P16
	5. ブザー	ボタン操作や動作完了時などに鳴るブザーの有効・無効を切替えます。	P16
	6. スタートアップメニュー	電源を入れた直後に表示されるメニューを設定します。	P16
	7. スクリーンセーバー	長時間液晶画面が同じ内容を表示すると発生する画面の焼き付きを防止するためのスクリーンセーバー機能を設定します。	P17
	8. カウンター	1回の作業で使うディスクの枚数を設定します。ここで設定された数値が、1ジョブとなります。	P17

	9. DVD+Rコンパチモード	DVD+Rメディア向けのDVDプレイヤー互換モードの有効・無効を選択できます。	P17
	10. ISRC	ISRC（国際レーティングコード）を書き込み時に付与することができます。	P17
	11. ドライブノ ショウセッテイ	無効にするドライブを選択できます。	P17
	12. オーバーバーン	規定容量を超えたデータが書き込めるCDがコピーできるようになります。ただ、こちらを使うと再生互換性が低下します。	P17
11. システムユーティリティ		システムに関する情報などを参照できます	P18
	1. ディスク ジョウホウ	ディスクの容量、フォーマット形式が確認できます。	P18
	2. システム ジョウホウ	コピーコントローラのファームウェアバージョンが確認できます。	P18
	3. ドライブ ジョウホウ	ドライブの情報が確認できます。	P18
	4. ロード デフォルト	実行すると全ての設定が初期の状態に戻ります。（設定のリセット）	P18
	5. アップデートファームウェア	ファームウェアの更新を行ないます。	P18
12. ローダユーティリティ		オートローダに関する設定ができます。	P19
	1. ネンチャクメディアモード	ディスクを揺さぶって、くつつきを防止する機能です。	P19
	2. ロボットファームウェアアップデート	ロボットのファームウェアを更新する場合に使用します。	P19
13. アカウント カンリ		ユーザー毎にアクセス出来る機能を制限することができます。	P20
	1. ユーザカクニン	登録ユーザの確認ができます。	P20
	2. ユーザージョウホウ サクセイ	ユーザの登録ができます。	P20
	3. ユーザージョウホウ ヘンシュウ	登録ユーザのパスワードを変更できます。	P20
	4. ユーザージョウホウ サクジョ	登録ユーザの削除ができます。	P20
	5. キドウ パスワード	パスワード機能の有効・無効を設定できます。 パスワード初期設定値：0000	P20
14. オートコピー		HDDにロードする操作を行わず、1枚目のディスクを自動でマスターとして使用し、続くディスクに連続でコピーを行います。	P21
15. オート コピー+コンペア		HDDにロードする操作を行わず、1枚目のディスクを自動でマスターとして使用し、続くディスクに連続でコピーとコンペアを行います。	P21
16. オート コンペア		HDDにロードする操作を行わず、1枚目のディスクを自動でマスターとして使用し、続くディスクに連続でコンペアを行います。	P21
17. シャットダウン		設定を保持したまま電源が切れる準備を行う機能です。必ずこの操作を行ってから電源スイッチを切ってください。	P21

準備する

電源の操作

電源を入れる

- ① 電源コードと本体を接続し、コンセントを差し込みます。
- ② 本体背面にある電源スイッチを『I』の方へ倒します。
- ③ システムの起動画面が表示され、アームの初期動作が行われます。
- ④ 起動音が鳴り、以下の画面が表示されます。

VinpowerDigital X.XX
1.3ヒュー

電源を切る

- ① ディスクがドライブ内に残っていないのを確かめて下さい。
- ② メニューから『15. シャットダウン』を選択し、ENTボタンを押します。

VinpowerDigital X.XX
15.シャットダウン

↓ENTボタンを、表示されるメッセージに応じて2度押す。

システムチェックOK!
デンゲンヲOFFデキマス

- ③ 『デンゲンヲOFFデキマス』と表示されたら電源スイッチを『O』の方へ倒します。
- ④ 電源用アクセスランプが消灯したことを確認し、コンセントを抜きます。



電源スイッチ



取っ手



ディスクを設置する

- ① 手前の下部にある銀色の取っ手をつかみ、手前に引きます。
- ② ディスクトレイが出てきますので、カチリと手応えがあるまで手前に引き出します。
- ③ 奥のピン（ディスク置場）にマスターディスクおよびブランクディスクを、規定枚数以下で積み上げます。
- ④ 手前に倒れている滑り台を、インプットピンの上に位置するよう奥に倒します。

※ディスクを設置する際の注意事項

1. トレイは必ず全て引き出してください。完全に引き出されていない場合は動作しないようになっています。
2. インプットピンには、規定枚数以上積み上げないように、枚数を数えて設置してください。規定数以上積み上がった場合、アームの動作が阻害され、動作不良を起こしたり破損するおそれがあります。
3. 作業が終了し、トレイを本体内に戻す場合には、ディスクを取り除いて、滑り台を手前に倒してから押しこんで下さい。そのまま押しこむと破損したり、中でディスクが引っ掛かり、次回に引き出せなくなるおそれがあります。

コピー開始の前に——HDDにイメージを作成する

本機はマスターのデータをハードディスク（HDD）に保存してから、ディスクの作成を始めます。この、HDD保存されたデータを「イメージ」と呼びます。

また、本機内では区切りを意味する「パーティション」と呼んでいます。

まずはこのパーティション内にマスターのデータをロードする作業から行ないます。

- ① マスターディスクをインプットビンに設置する。
- ② メニュー画面で『9.HDDセットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押す。
- ③ 『2.パーティション ロード』を選択し [ENT] ボタンを押す。
『パーティションメイヲ ツケテ ロード』『パーティションニ ロードシマス』『ウワガキ』のいずれかを [↑] [↓] ボタンで選択し [ENT] ボタンを押す。

パーティションメイヲ ツケテ ロード

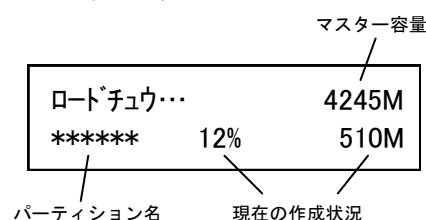
任意の名前を付けて作成します。

パーティションニ ロード シマス

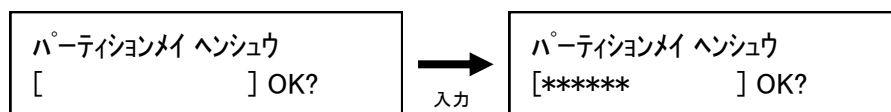
自動で通し番号を割り振った名前をつけて作成します。

ウワガキ

作成済のイメージ名を選択して上書き作成します。



パーティション名の付け方

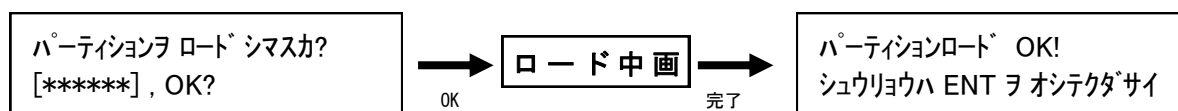


パーティション名の作成、変更時には上のような画面になります。

[] の枠内に黒い点が点滅していて [↑] [↓] ボタンを押すごとにアルファベットおよび数字が切り替わります。

また、[ENT] ボタンを押すことで先（右側）に進み、[ESC] ボタンを押すことで前（左側）に戻ります。

入力が完了したら画面で『OK?』と書かれている所まで [ENT] ボタンを押し、さらに押すと入力が決定し確認画面が出てきます。



表示されている入力したパーティション名に問題がなければ [ENT] ボタンを押してロードを開始します。

ロード中は右上のように作成状況が表示され、100%に達すると「パーティションロードOK!」と表示されますので、[ENT] ボタンで終了させます。

以上の操作により、イメージが作成できます。

メニュー別の操作説明

1.コピー

HDD内に作成されたイメージから、ディスクへの書込を行います。

- ① インプットビン【右図参照】にブランク（書き込み前）のディスクをセットします。
- ② 右図のようにインプットビンの上に滑り台を設置します。
- ③ メニューから『1.コピー』を選択し [ENT] ボタンを押します。

パーティション センタ
[*****] ****M

- ④ パーティションを選択する画面が表示されますので、コピーしたいパーティションを [↑] [↓] ボタンで選択し [ENT] ボタンを押します。
- ⑤ 『カウンター』が表示されますので、連続してコピーを行う枚数を [↑] [↓] ボタンで切り替え、[ENT] ボタンで決定して入力を終了させると、指定枚数のコピーが開始されます。
- ⑥ 指定した枚数が終了すると、右の画面が表示され、書込が成功した枚数と失敗した枚数が確認できます。



セイコウ: ** シツパイ: **
シュウリョウハ ENT ヲ オシテタサイ

2.テスト

ディスクの書込をシミュレートし、動作チェックをします。（実際には書き込みません）

上記【1.コピー】項目の【1.コピー】のところを【2.テスト】に置き換え、同様の操作を行って下さい。

3.コンペア

書込済みのディスクが、正常に書きこまれたかどうかのチェックを行います。

上記【1.コピー】項目の【1.コピー】のところを【3.コンペア】に置き換え、同様の操作を行って下さい。
なお、コンペアは書き込まれたデータ内容が同一であることをチェックし、書き込みもしくは読み込みエラーが発生していないかをチェックする機能ですので、書込で使用したものと同一イメージを指定して下さい。別のイメージを指定しますとコンペア失敗となります。

4.テスト+コピー

テストの動作に引き続き自動でコピー動作が行われます。（操作は共通です）

5.コピー+コンペア

コピーの動作に引き続き自動でコンペア動作が行われます。（操作は共通です）

※注意

インプットビンに置いたディスクを超える枚数をカウンターで指定すると、インプットビンのディスクが空になった時点で動作が一時停止し、ディスクが無くなった事を表示しますので、ブランクディスクをセットしてから [ENT] ボタンを押して再開して下さい。動作中にディスクを追加すると、アームが手に当たる危険がありますので、おやめ下さい。

6.コピーソクド センタク

コピー等の書込動作速度を指定します。（書込倍速設定）

- ① メニューから『6.コピーソクド センタク』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで、速度を指定したい項目を選択し [ENT] ボタンを押します。
【例：CD to CDソクド = CDから直接コピーを行う際の速度】
- ③ [↑] [↓] ボタンで速度（倍速）【例：16x】を選択し [ENT] ボタンを押します。[ENT] ボタンを押すとコピー速度選択の画面に戻りますので、他の項目を設定する必要がなければ [ENT] ボタンでメニュー画面に戻ります。
- ④ 『Saving...』と表示されている間お待ち下さい。わずかな時間を置いてメニュー画面に戻ります。

コピーソクド センタク：
CD to CDソクド

CD to CDソクド：
16x

7.マスターモード

コピー元のマスターデータの取扱いを指定します。

本製品には『シングルマスター（SM）』と『マルチマスター（MM）』の2つのモードが搭載されています。

・シングルマスター

HDDのイメージを指定して、カウンターで指定した枚数分のコピーを行います。

・マルチマスター

インプットビンにマスターディスクとブランクディスクを置き、複数のマスターを挟みこむことで、次のマスターディスクの所から、その内容を自動的にイメージ化してコピー内容を切り替えるモードです。特定の枚数のコピーと、複数の内容のコピーを一度の作業で仕上げられる、便利な機能です。

- ① メニューから『7. マスターモード』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『シングルマスター』『マルチマスター』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 『1. コピー』の右隣に右図のようなモードが表示されていますので、設定通りになっているのを確認して作業を開始します。

VinpowerDigital X.XX
1.コピー (SM)

こちらに現在のモードが表示されます

※注意

マルチマスター（MM）モードは、インプットビンに置かれたマスターディスクを随時読み込んでマスターにするモードですので、HDDに作成したイメージを指定できません。

マルチマスターモードに設定した場合には、必ずマスターディスクをインプットビンの一番上に置いてください。一番上にマスターディスクが置かれていない場合は、読み込みエラーとなって停止します。



マルチマスター 設置イメージ

8. ショウキョ

書換可能ディスク（RW）の内容を消去・初期化します

- ① インプットビンに消去を行いたいディスクを実行枚数分セットし、滑り台を設置します。
- ② メニューから『8. ショウキョ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『クイックショウキョ』と『カンゼンショウキョ』を選択し [ENT] ボタンを押します。『カンゼンショウキョ（完全消去）』には多くの時間がかかりますのでご注意ください。
- ④ 『カウンター』が表示されますので、連続してコピーを行う枚数を [↑] [↓] ボタンで切り替え、[ENT] ボタンで決定して入力を終了させると、指定枚数のコピーが開始されます。
- ⑤ 指定した枚数が終了すると、右の画面が表示され、消去が成功した枚数と失敗した枚数が確認できます。

『ショウキョ』には2種類のモードが用意されております。目的・用途に合わせてお選びください。

・クイックショウキョ → 数秒で処理が終わります
ディスクの「目次部分」のみ消去し、データはそのまま残します。データは残っていますが、空のディスク（ブランク）として扱われるようになります。

・カンゼンショウキョ → 書込の場合と同等の時間が掛かります
ディスクを全てゼロのデータにします。すべての情報、データが消去されます。

「クイックショウキョ」ではデータが残っているため、復元が容易です。ブランクディスクとして第三者に渡す場合などには、完全消去を行っていただくのをお勧めします。

9. HDDセットアップ

ハードディスク全般の操作や設定を行います。

9-1. パーティション センタク

ハードディスク内に保存済みのイメージを選択する

- ① メニューから『9. HDDセットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『1. パーティション センタク』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ ディスプレイにイメージデータ選択画面が表示されますので、任意のパーティションを [↑] [↓] ボタンで選択し [ENT] ボタンを押します。

9-2. パーティション ロード

【11ページをご参照下さい】

9-3. パーティションメイ ヘンコウ

ハードディスク内に保存済みのイメージ名を変更する

- ① メニューから『9. HDDセットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『3. パーティションメイ ヘンコウ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ ディスプレイにイメージデータ選択画面が表示されますので、任意のパーティションを [↑] [↓] ボタンで選択し [ENT] ボタンを押します。
- ④ [↑] [↓] ボタンと [ENT] ボタンを使って名前を入力していきます。入力方法は『パーティションロード』と同一です。

9-4.パーティション サクジョ

ハードディスク内に保存済みのイメージを削除します。

- ① メニューから『9. HDDセットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『4. パーティション サクジョ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ ディスプレイにイメージデータ選択画面が表示されますので、削除したいパーティションを[↑] [↓] ボタンで選択し [ENT] ボタンを押します。
- ④ 削除して良いか確認の画面が表示されるので、良ければ [ENT] ボタンを、キャンセルする場合には [ESC] ボタンを押します。

9-5.パーティション ジョウホウ

ハードディスク内に保存済みのイメージを参照して内容を確認します。

- ① メニューから『9. HDDセットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『5. パーティション ジョウホウ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ ディスプレイにイメージデータの情報が表示されます。[↑] [↓] ボタンで情報を確認したいイメージを選択します。

パーティション番号	種別・容量
(001)	DVD 4245M
XXXXXX.	VEF
パーティション名	

9-6.ヨミコミ ドライブ センタク

ハードディスクロード時に使用する光学ドライブを指定します。

- ① メニューから『9. HDDセットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『6. ヨミコミ ドライブ センタク』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 光学ドライブの選択画面となるので、読込に選択したいドライブを[↑] [↓] ボタンで選択し [ENT] ボタンを押します。

9-7.HDDフォーマット

ハードディスクを初期化（全データ消去）します。 ※元に戻せませんのでご注意ください

- ① メニューから『9. HDDセットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『7. ヨミコミ ドライブ センタク』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 全てのデータを消去して良いかの確認画面が出るため、良ければ [ENT] ボタンを、キャンセルする場合には [ESC] ボタンを押します。
- ④ 一定時間が経った後、フォーマットが完了して自動的にメニュー画面に戻ります。

9-8.ファイル ナラビジュン ※ この設定は「パーティション センタク」を実行する際に適用されます。

HDD内のパーティション（イメージ）が表示される順番を設定します。

- ① メニューから『9. HDDセットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『8. ファイル ナラビジュン』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで表示方法を選択し [ENT] ボタンを押して決定します。

デフォルト

パーティションが保存された順に表示されます。（標準）

アルファベット ショウジュン

パーティション名ごとに昇順（0から9、AからZ）に並べて表示されます。

アルファベット コウジュン

パーティション名ごとに降順（ZからA、9から0）に並べて表示されます。

10.セッティング

本体の挙動全般の設定を行います。

10-1.ゲンゴセンタク

液晶表示に使用する言語を選択します

- ① メニューから『10.セッティング』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『1.ゲンゴセンタク』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 使用したい言語を選択し [ENT] ボタンを押します。以降、表示言語が変わります。

10-2.リードエラー スキップ

ディスクの読み込みエラーが発生した場合に、読込を中断するかを設定します

- ① メニューから『10.セッティング』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『2.リードエラー スキップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 『オン』『オフ』を切替えます。(オン：読取を中断せず続行する オフ：読込を中断する)

10-3.CDコピーモード

CDの記録形式を指定します 『ディスクアットワンス』『トラックアットワンス』

- ① メニューから『10.セッティング』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『3.CDコピーモード』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで利用したい記録形式を選択し [ENT] ボタンを押します。

10-4.オーディオCD, VCD&CDGソクド

音楽CDやビデオCDの書込速度を設定します。(『6.コピーソクド センタク』とは別に設定されます)

- ① メニューから『10.セッティング』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『4.オーディオCD, VCD&CDGソクド』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで利用したい速度(倍速)を選択し [ENT] ボタンを押します。

10-5.ブザー

ボタンを押した時や動作が完了した時などに鳴るブザー音の有無を設定します

- ① メニューから『10.セッティング』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『5.ブザー』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 『オン』『オフ』を切替えます。(オン：音を鳴らす オフ：音を鳴らさない)

10-6.スタートアップメニュー

電源を入れた直後に表示されるメニューの種類を設定します

- ① メニューから『10.セッティング』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『6.スタートアップメニュー』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで起動時に表示したいメニュー項目を選択し [ENT] ボタンを押します。

10-7.スクリーンセーバー

液晶画面の長時間表示で発生する「焼き付き」を防ぐための機能を設定します

- ① メニューから『10. セットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『7. スクリーンセーバー』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 『オン』『オフ』を切替えます。(オン: スクリーンセーバー機能を使う オフ: 使わない)

10-8.カウンター

連続してコピーを行い、その回数を決定するカウンター機能の有無を設定します
(オートローダの連続コピーには、この機能が必要となるため、オンで使うことを推奨します)

- ① メニューから『10. セットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『8. カウンター』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 『オン』『オフ』を切替えます。(オン: カウンター機能を使う オフ: 使わない)

10-9.DVD+R コンパチモード

DVD+Rメディア向けのDVDプレイヤー互換モードでの書込をするかの有無を設定します

- ① メニューから『10. セットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『9. DVD+R コンパチモード』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 『オン』『オフ』を切替えます。(オン: 互換モード書込を行う オフ: 行わない)

10-10.ISRC

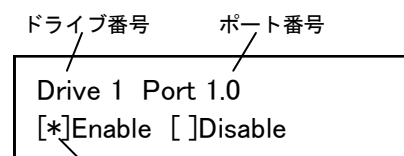
書込ディスクに国際レーティングコード(ISRC)を付与するかを設定します

- ① メニューから『10. セットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『10. ISRC』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 『オン』『オフ』を切替えます。(オン: ISRCを付与する オフ: 付与しない)

10-11.ドライブノ ショウセツテイ

一部のドライブを使用しないよう設定できます

- ① メニューから『10. セットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『11. ドライブノ ショウセツテイ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで変更したいドライブを選び [ESC] [ENT] で*マークを切替えます。
(Enable: そのドライブを使用する Disable: 使用しない)
- ④ 選択後に [↑] [↓] いずれかのボタンを押すと、設定を保存するかを確認する画面が出るため、良ければ [ENT] ボタンを、キャンセルする場合には [ESC] ボタンを押します。



*のある方が選択されています

10-12.オーバーバーン

規定容量を超えるデータCDを作成できるモードにします。なお、作成したディスクの読取の互換性は低下します。

- ① メニューから『10. セットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『12. オーバーバーン』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 『オン』『オフ』を切替えます。(オン: オーバーバーンを利用する オフ: 利用しない)

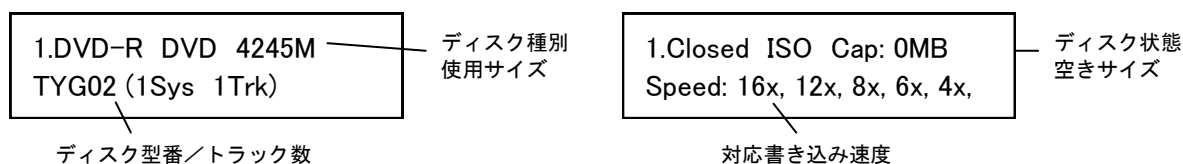
11.システムユーティリティ

本機の情報参照します。

11-1.ディスク ジョウホウ

ディスクの容量、フォーマット形式が確認できます

- ① メニューから『11. システムユーティリティ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『1. ディスク ジョウホウ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 情報を確認したいディスクを挿入（手動）し、しばらくするとディスクが検出された则表示されますので [ENT] ボタンを押すと、下図のように情報が表示されます。さらに [ENT] ボタンを押すと情報が切り替わります。（下図の2種類）



11-2.システム ジョウホウ

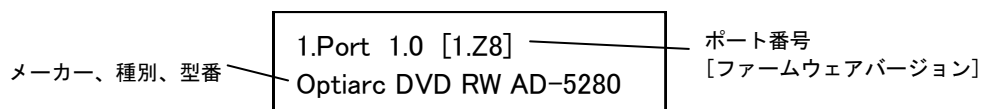
本機のファームウェアバージョンが確認できます

- ① メニューから『11. システムユーティリティ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『2. システム ジョウホウ』を選択し [ENT] ボタンを押します。

11-3.ドライブ ジョウホウ

ドライブの型名、ファームウェアを確認できます

- ① メニューから『11. システムユーティリティ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『3. ドライブ ジョウホウ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 情報を確認したいドライブを [↑] [↓] ボタンで選択し [ENT] ボタンを押します。



11-4.ロード デフォルト

各種設定を初期状態に戻します

- ① メニューから『11. システムユーティリティ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『4. ロード デフォルト』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 初期化して良いのかの確認画面が表示されますので、良ければ [ENT] ボタンを、キャンセルする場合には [ESC] ボタンを押します。

11-5.アップデート ファームウェア

システムのファームウェアをアップデートします

- ① メニューから『11. システムユーティリティ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『5. アップデート ファームウェア』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ ファームウェアの書き込まれたディスクを挿入（手動）し [ENT] ボタンを押します。一定時間が経つとアップデートが完了し、電源を切るよう促す画面が表示されますので、電源を切って再起動します。

12.ローダユーティリティ

オートローダの設定を行います

12-1.ネンチャクメディアモード

くっついて2重になったディスクがドライブに置かれていないかをチェックする機能です。
(アームがチェック動作を行う分、動作時間が掛かるようになります)

- ① メニューから『12. ローダユーティリティ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『1. ネンチャクメディアモード』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 『オン』『オフ』を切替えます。(オン: くっつき防止機能を使う オフ: 使わない)

12-2.ロボットファームウェアアップデート

オートローダのファームウェアをアップデートします

- ① メニューから『12. ローダユーティリティ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『2. ロボットファームウェアアップデート』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ ファームウェアの書き込まれたディスクを挿入(手動)し [ENT] ボタンを押します。一定時間が経つとアップデートが完了し、電源を切るよう促す画面が表示されますので、電源を切って再起動します。

※注意

システムファームウェア、ロボットファームウェア共に、必要でない限りはむやみにアップデートしないでください。ファームウェアは機械の根幹に組み込まれたソフトウェアで、問題が発生した場合には動作不良に陥ることがあります。何らかの理由によりアップデートが正常に行われなかった場合、起動できなくなるおそれがあります。また、お客様の手によるファームウェアのアップデート作業により、本機に動作不良が発生した場合は、無償修理保証期間内であっても保証の対象外となりますので予めご了承下さい。

13.アカウント カンリ

操作を許可するユーザー（アカウント）を設定します

- ① メニューから『13.アカウント カンリ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで桁ごとのパスワード番号入力し [ENT] ボタンを押して桁を切り替え『OK?』のところまでカーソルを移動させたら再度 [ENT] ボタンを押します。

パスワード ニュウリョク
[] OK?

※初期（未設定時）のパスワードは『0000』です

- ③ 以下の項目から行いたい設定を [↑] [↓] ボタンで選択し [ENT] ボタンを押します。

13-1.ユーザーカクニン

現在、登録されているユーザ名を確認することが出来ます。

※注意： アカウントの再設定が出来るユーザは、管理者権限を有する『Admin』のみです。

13-2.ユーザージョウホウ サクセイ

新規アカウントを作成することが出来ます。作成時にユーザー名とパスワードを登録します。

アカウントを作成することにより、各自の設定やパーティションを占有することが出来ます。

13-3.ユーザージョウホウ ヘンシュウ

既存のユーザー名とアカウントを再設定できます。

管理者権限を有する『Admin』のユーザー名は変更出来ません。変更が可能なのはパスワードのみです。

13-4.ユーザージョウホウ サクジョ

既存のアカウントを、このメニューで削除出来ます。

管理者権限を有する『Admin』のユーザー名は削除できません。

13-5.キドウ パスワード

デュプリケータ起動時に、パスワードによる管理を行うか設定することが出来ます。

この機能を『ハイ』にすると、起動時にアカウントが表示され、既存のパスワードを入力しない限り、機械を操作することが出来なくなります。

※注意

設定したアカウント別のパスワードを忘れてしまうと、操作が行えなくなります。

特に、全操作の権限を有する『Admin』のパスワードについては、管理者が確実に管理するようお願いいたします。

14.オートコピー

自動でマスターディスクから中断させるまで連続でコピーを続けるモードです。

- ① インพุットビンが一番上にマスターディスクを置き、その下にブランクディスクを複製したい枚数、またはインพุットビンの上限を超える場合には最大枚数を設置します。
- ② メニューから『14. オートコピー』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ コピーが自動で開始されます。インพุットビンにブランクディスクが無くなったら、ディスクが無くなった事を示す画面が表示されますので、続ける場合には再度ブランクディスクを必要枚数インพุットビンに設置して [ENT] ボタンを押し、終了させる場合には [ESC] ボタンを押します。

※注意

オートコピーモードは、マルチマスター (MM) モードのコピーとは異なり、インพุットビンに2枚目のマスターディスクが置かれている場合は、認識するとエラーとなり停止します。

15.オート コピー+コンペア

自動でマスターディスクから中断させるまで連続でコピー+コンペアを続けるモードです。

- ① インพุットビンが一番上にマスターディスクを置き、その下にブランクディスクを複製したい枚数、またはインพุットビンの上限を超える場合には最大枚数を設置します。
- ② メニューから『15. オート コピー+コンペア』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ コピーが自動で開始されます。続いてコンペアが実行されます。インพุットビンにブランクディスクが無くなったら、ディスクが無くなった事を示す画面が表示されますので、続ける場合には再度ブランクディスクを必要枚数インพุットビンに設置して [ENT] ボタンを押し、終了させる場合には [ESC] ボタンを押します。

16.オート コンペア

自動でマスターディスクから中断させるまで連続でコンペアを続けるモードです。

- ① インพุットビンが一番上にマスターディスクを置き、その下にブランクディスクを複製したい枚数、またはインพุットビンの上限を超える場合には最大枚数を設置します。
- ② メニューから『16. オート コンペア』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ コンペアが自動で開始されます。インพุットビンにブランクディスクが無くなったら、ディスクが無くなった事を示す画面が表示されますので、続ける場合には再度ブランクディスクを必要枚数インพุットビンに設置して [ENT] ボタンを押し、終了させる場合には [ESC] ボタンを押します。

17.シャットダウン

正常に電源を切るための準備動作を行います

- ① メニューから『17. シャットダウン』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② シャットダウンすることを確認するメッセージが表示されますので、良ければ [ENT] ボタンを、キャンセルする場合には [ESC] ボタンを押します。
- ③ わずかな時間、システムのチェックを行い、準備が完了すると電源を切るよう促すメッセージが表示されますので、その後に電源を切ってください。ドライブにディスクが入っている場合にはトレイが排出されますので、ディスクを取り除き、トレイを戻してから電源を切ってください。

※注意

シャットダウン操作を行わずに電源を切った場合には、設定が消去されて初期化されてしまったり、場合によってはファームウェアが壊れ動作が不良になったりする場合があります。
電源を切る前に必ず、シャットダウン操作を行うよう徹底して下さい。

エラーコード一覧表

コード	メッセージ	説明
R10	アームハトップノイチニモドラ レマセンデシタ	アームが10秒以内にトップの位置に戻る事が出来なかった事を示しています。 アームは各動作の後にトップに戻らなければなりません。 何らかの障害、もしくは機械の故障が、アームが要求された動作を完了する妨げになった事を意味しています。
R11	シテイジカンナイニアームガケ ンシュツデキマセンデシタ	アームがディスクを掴む際、10秒以内に何も検出出来なかった事を示しています。 何らかの障害、物品の欠損、機械の故障が、アームがディスクやドライブを検出する妨げになった事を意味しています。
R13	オチタディスクノイチニイドウ デキマセン	ディスクをアウトプットする際、アームが4秒以内に「落下」位置に到達出来なかった事を示しています。 何らかの障害、部品の欠損、もしくは機械の故障が、アームが割り当てられた仕事を実行する妨げになった事を意味しています。
R20	インプットビンニブランクディ スクガアリマセン	インプットビンが空であることを示しています。このエラーは空のディスクがドライブ内で検出出来ない場合も起こります。
R21	インプットビンノエラーデス	インプットビンのエラーを示しています。部品の欠損や機械の故障など、アームが何らかの障害によって、割り当てられた仕事を実行する妨げになった事を意味しています。
R30	ディスクノアウトプットチュ ウ、ドライブトレイヲミツケル コトガデキマセン	アームが、完成したディスクをドライブから掴みに行く際、アームの可動域の下限まで下がっても、開いたトレイを検出出来ない事を示しています。
R40	マエノエラーヲクリアシマス	システム命令に不具合が生じた事を示しています。現在の作業を中止して、新しい作業を開始して下さい。
R50	ヒキダシハカンゼンニヒラケラ レマセン	ディスクトレイが完全に開ききっていないことを示しています。 引き出しが開ききっていると思われる場合は、一旦引き出しを閉めて、カチッという音がするまで再度開いてみて下さい。
R60	ディスクノインプットチュウ、 ドライブトレイヲミツケルコト ガデキマセン	アームがディスクをドライブへ運びに行く際、アームの可動域の下限まで下がっても、開いているドライブトレイを検出出来ない事を示しています。
R70	ディスクノウンソウチュウオチ マシタ	ディスクがインプットビンから掴まれ、ドライブトレイへ運ばれる途中に落ちた事を示しています。
R71	インプットビンカラAディスク ノピックアップハシツパイシマ シタ	アームはインプットビンからディスクを3度試みても掴めなかった事を示しています。
R80	ディスクハドライブトレイニ ロードサレナク、ロボットノ アームデノコッテマス	ディスクがアームに引っかかったまま、適切にドライブトレイに落とされなかった事を示しています。
R90	アウトプットビンチュウ、ディ スクガオチマシタ	ディスクがドライブトレイから掴まれ、アウトプットビンへ運ばれる途中に落ちた事を示しています。
R176	ドライブトレイノナカニディ スクヲケンシュツデキマセン	アームが、ドライブトレイからディスクを取り除こうとしているのに、ディスクを検出出来ない事を示しています。 アームがディスクを掴む前に手動でトレイからディスクを取り除いた場合などでも起こり得ます。

MEMO